



学校教育目標

「自ら学ぶ意欲をもち、心豊かなたくましい東っ子」の育成

こだま 6月号



〔東町小ホームページ〕 <https://www.city.ageo.lg.jp/site/azumacho-elementaryschool/>

または、「上尾市教育委員会」ホームページ → 「市立幼稚園・小中学校」 → 「東町小学校」をクリック。

非認知能力とは

上尾市立東町小学校長 加藤 雅教

先日、登校時に昇降口に立って挨拶をしていると、1年生の児童数名がそれぞれの伝えたいことをはっきりした口調で言ってきました。水溜まりに入り靴や靴下が濡れてしまったこと、今日は体育発表会の練習があること、置き傘の置く場所がわからないこと、植木鉢の近くにダンゴムシがいたこと、など。自分の伝えたいことをしっかり言うことができる1年生が多く、頼もしく思っています。また、「園長先生！」と声を掛けてくる1年生がいて、かわいらしく感じています。入学して2か月が経ち、2～6年生の助けもあり小学校の生活にすっかり慣れた様子です。

さて、5月に小学生4～6年生、中学生1～3年生対象に、埼玉県学力・学習状況調査を埼玉県内一斉に実施しました。この調査で、子供たちの学力を測る「教科に関する調査」、学習に関する関心や規範意識、さらに家庭での学習状況に関する「質問紙調査」、学校の取組についての「質問紙調査」を実施しました。子供たちが自分の実力を知り、どれだけ学力が伸びているかを実感し、自信を深める機会にしたいと考えています。

(詳細については埼玉県教育委員会ホームページをご覧ください。埼玉県学力・学習状況調査で検索。)

以前、その調査を担当する埼玉県教育委員会の課長から話を聞く機会があり、その内容は「学力と非認知能力は強く関係する」というものでした。つまり、非認知能力が高ければ学力も高いということです。非認知能力とは、意欲・協調性・忍耐力・自制心・好奇心など、一般知能(IQ)とは異なる、数値では計り知れない能力のことです。非認知能力を高めるには、様々な経験を積み重ねることだといわれています。家庭や学校やその他全ての様々な経験を通して子供たちに身に付く能力なのです。成功や失敗を重ね、その経験から学ぶのです。また、自己肯定感を高めることも非認知能力を高めるのに重要だといわれています。



2年生が育てているミニトマト。毎日水やりをし、観察しています。収穫が楽しみです。

2学期には体育発表会、音楽会などの学校行事があります。様々な経験から多くを学ぶ機会となることを期待しています。

体育発表会

5月21日の体育発表会は、雨の状況を判断しながらの運営のため、開始時刻を急遽早めたり、一部のプログラムができなかったり、ご参観いただいた皆様にはご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。

また、参観者の入替、駐輪場案内等の運営にご協力いただきました、PTA役員、おやじの会の皆様に感謝申し上げます。